

令和元年度(平成30年度実施事業分)事務事業評価評価票

No. 11-017

PDCA	事務事業名	畜産環境対策推進事業	部課等名	市民経済部 経済課 農務担当	担当 内線等	川口 316	
P 総合計画との関係性等	政策体系	章： 第3章 にぎわいの創出と良好な環境が両立するまち					
		節： 第1節 観光・産業の振興					
		基本施策： 2. 農業					
		単位施策： (1) 継続的・安定的な農業経営の促進					
	根拠法令等	個別施策： ①担い手の育成					
	対象・目的	畜産臭気軽減のために環境対策推進の各種補助金を交付することにより、畜産環境対策の推進に努める。					
	目的を達成するための手段・活動内容	畜産環境対策推進事業については、実施済みの臭気対策を検証し、特に効果が認められる消臭資機材に対しては、補助率を上げて事業者に交付することで臭気対策の推進を図る。					
D 前年度の活動結果と見られた成果	活動結果	活動実績	28年度	29年度	30年度	単位	
		①噴霧式消臭システムの設置数	0	0	0	件	
		②堆肥を市外に運搬した農家数	11	12	12	件	
		③消臭薬剤の購入した農家数	13	13	11	件	
		事業費	3,301	3,015	3,326	千円	
		人件費	2,541	2,855	3,123	千円	
		総事業費	5,842	5,870	6,449	千円	
	活動単位当たりのコスト	28年度	29年度	30年度	単位		
	①噴霧式消臭システム設置1件当たりの事業費	0	0	0	千円		
	②堆肥を市外に運搬した1農家当たりの事業費	91	83	138	千円		
	③消臭薬剤の購入した1農家当たりの事業費	13	78	60	千円		
	成果	成果指標	28年度	29年度	30年度	単位	
		①堆肥を市外に運搬した堆肥の総量	実績値	7,298	6,798	6,640	t
目標値			6,500	6,500	6,500		
②職員が敷地境界で測定したアンモニア濃度の平均値		実績値	0.1	0.1	0.1	ppm	
		目標値	0.1	0.1	0.1		
③		実績値					
	目標値						
C 課題の整理	観点別評価	必要性	有効性		効率性		
		①市の関与の妥当性	妥当	④上位施策への貢献	大きい	⑦コスト削減余地	ない
		②市民ニーズ	高い	⑤成果向上の余地	ある	※対象・手段の変更	
	③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ない	⑧受益者負担適正化余地		ない
事業の評価・課題	<p style="text-align: center;">C</p> 臭気対策事業として、消臭薬剤購入等への補助を実施し臭気の軽減に努めた。県外からの畜産環境対策の行政視察を受け入れ、現状の臭気対策について情報交換を行い、臭気対策について、互いに意識を高めることができた。 大同大学との共同実証実験では、市内畜産農家と連携し、扇風機による家畜糞尿の乾燥促進実験を行う等、畜産臭気軽減対策について調査した。						
A 課題解決のための目標	今後の事業の方向性	<p style="text-align: center;">改善推進</p> 大同大学との共同実証実験結果を受け、乾燥施設へ投入する家畜糞尿の含水率を85%以下に前処理するよう指導していく。また、臭気測定については、アンモニア系統の測定を行っていたが、環境課が行う低級脂肪酸系統及び硫黄系統の物質の測定に切り替え、基準値を超える場合は、環境課と協力し指導を行う。					
	令和元年度の目標	成果指標	目標値	単位			
		①堆肥を市外に運搬した堆肥の総量	6,700	t			
		②職員が乾燥ハウス等で測定した家畜糞尿の含水率平均値	85	%以下			